
製品名：水酸化ドロマイト

1. 製品及び会社情報

製品名 : 水酸化ドロマイト
会社名 : 全国農業協同組合連合会
担当部署 : 耕種資材部
住所 : 〒100-6832 東京都千代田区大手町 1-3-1 JA ビル 33F
電話番号 : 03-6271-8285
FAX番号 : 03-5218-2536
電子メールアドレス : zz_hiyaku-gizyutsu@zennoh.or.jp
緊急連絡番号 : 03-6271-8285

推奨用途及び使用上の制限 肥料用及び肥料原料用。肥料用途以外には使用しないで下さい。

2. 危険有害性の要約

強アルカリ性で目に入ると、最悪の場合、失明のおそれ

GHS 分類

水酸化カルシウム

物理化学的危険性	可燃性固体	区分外
	自然発火性固体	区分外
	自己発熱性化学品	区分外
	水反応可燃性化学品	区分外
	酸化性固体	分類できない
	金属腐食性物質	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分外

	急性毒性（経皮）	分類できない
	急性毒性（吸入：粉じん）	分類できない
	皮膚腐食性・刺激性	区分 1
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 1
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）	区分 1（呼吸器系）
	特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）	区分 2（肺）
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境急性有害性	分類できない
水酸化マグネシウム	対象外	
	大量に飲み込むと、嘔吐、下痢、悪心を引き起こす場合あり。	

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語	危険
危険有害性情報	皮膚刺激 重篤な眼の損傷 呼吸器系の障害 長期又は反復ばく露による呼吸器系の障害

3. 組成、成分情報

化学物質

単一製品・混合物の区別 混合物

成分	濃度範囲[%]	化学式	官報公示整理番号	CAS No.
水酸化カルシウム	40～60	Ca(OH) ₂	(1) - 181	1305-62-0
水酸化マグネシウム	20～30	Mg(OH) ₂	(1) - 386	1309-42-8

4. 応急措置

吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移動し、鼻をかませ、うがいをさせる。 必要に応じ、医師の診察を受けること。
--------	---

皮膚に付着した場合	流水にて十分に洗い流す。
目に入った場合	多量の清水で 10 分以上、注意深く洗い、直ちに医師の診断を受けること。 コンタクトレンズ着用の場合、容易に外せるならば外して、多量の清水で 10 分以上、注意深く洗い、直ちに医師の診断を受けること。
飲み込んだ場合	速やかに口をすすぎ、直ちに医師の診断を受けること。

5. 火災時の措置	本製品自体は不燃性
消化剤	乾燥化学粉末、二酸化炭素、乾燥砂、など。
特有の危険有害性	燃焼すると腐食性または刺激性ヒュームが発生することがあります。 また、加熱すると酸化カルシウムと酸化マグネシウムを生成する。
消化を行う者の保護	消火作業の際は、空気呼吸器を含め、適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	保護手袋、保護メガネ、長靴、防塵マスク等の保護具を着用する。
環境に対する注意事項	河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
回収、中和	漏出、飛散した場合には、掃除機、スコップ、箒等により、 できるだけ粉体の状態で回収し、廃棄まで容器で保管する。 回収品は、13.廃棄上の注意に従い廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策	皮膚に付けたり、粉塵を吸入しないように適切な保護具を着用する。
局所排気・全体換気	局所排気装置を使用するか、換気のよい場所で行う。
保管	
保管条件	湿気を避けて保管すること。
容器包装材料	紙袋、ポリ袋、フレコンなど

8. ばく露防止及び保護措置	
管理濃度	設定されていない。
許容濃度	ACGIH (2015 年版) TLV-TWA 5mg/m ³
設備対策	粉塵が発生する場合には、局所排気を設置する
保護具	
呼吸器の保護具	防塵マスク
手の保護具	手への接触を防ぐのに適した保護手袋
眼の保護具	保護メガネ
皮膚及び身体の保護具	肌への接触を防ぐのに適した保護衣、安全靴等
衛生対策	取扱い後はよく手を洗うこと

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态、形状、色など	白色粉末
pH	12~13
融点	580°C (分解して CaO を生成) (CaO 融点: 2,572°C) 350°C (分解して MgO を生成) (MgO 融点: 2,852°C)
引火点	不燃性
密度	Ca(OH) ₂ : 2.24g/ml Mg(OH) ₂ : 2.36g/ml
溶解度	水に微溶
自然発火温度	不燃性
燃焼性	不燃性
比重	0.4~0.6

10. 安定性及び反応性

安定性	大気中の炭酸ガスを吸収し、炭酸カルシウム、炭酸マグネシウムとなる。 加熱すると分解し、酸化カルシウム、酸化マグネシウムを生じる。
危険有害反応可能性	酸類と反応し発熱する。強酸化剤と反応する。
避けるべき条件	湿気を避けて保管する。
混触危険物質	強酸化剤、酸類。
危険有害な分解生成物	酸化カルシウム、酸化マグネシウム

11. 有害性情報

急性毒性	多量に経口摂取すると、下痢を起こすことがある 粉塵を吸入すると、鼻、のど、気管が刺激される
皮膚腐食性・刺激性	皮膚刺激性あり(区分2)
眼に対する重篤な損傷・刺激性	目に対して刺激性あり、最悪の場合、失明するおそれ(区分1)
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器感作性: データなし 皮膚感作性: データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	呼吸器、気道を刺激し肺水腫を引き起こす可能性あり区分1 (呼吸器系)
特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)	長期又は反復ばく露による肺の障害のおそれ。区分2 (肺)

12. 環境影響情報

環境影響	接触水は pH12~13 を呈することから、環境への流出を避ける
------	----------------------------------

生体蓄積性	水性環境急性有害性 データ不足のため分類できない 水性環境慢性有害性 データ不足のため分類できない
残留性、分解性	データなし
土壌中の移動性	データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄物の取り扱い	下水道、地面、河川に投棄してはならない。
残余廃棄物	都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
汚染容器及び包装	内容物を完全に除去し、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報	IMO の規定に従う
UN No.	3262
Proper Shipping Name	CORROSIVE SOLID, BASIC, INORGANIC, N.O.S.
Class	8
Packing Group	III
Marine Pollutant	Not applicable
航空規制情報	ICAO/IATA の規定に従う
UN No.	3262
Proper Shipping Name	Corrosive solid, basic, inorganic, n.o.s.
Class	8
Packing Group	III

国内規制

陸上規制情報	非該当
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う
国連番号	3262
品名	その他の腐食性物質（無機物）（固体）（アルカリ性のもの）
クラス	8
容器等級	III
海洋汚染物質	非該当
航空規制情報	航空法の規定に従う
国連番号	3262
品名	その他の腐食性物質（無機物）（固体）（アルカリ性のもの）
クラス	8
等級	III
特別の安全対策	移送時にイエローカードの保持が必要

15. 適用法令

労働安全衛生法	名称等を通知すべき有害物 (法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9)
船舶安全法	腐食性物質 (危規則第 2, 3 条危険物告示別表第 1)
航空法	腐食性物質 (施行規則第 194 条危険物告示別表第 1)

16. その他の情報

TLV および BEI (ACGIH 2015)
国際化学物質安全カード (ICSE)
GHS 分類結果 (国立工業技術評価研究所)

※この製品安全データシートは各種の文献などに基づいて作成しておりますが、必ずしも全ての情報を網羅しているものではありませんので、取扱には十分に注意して下さい。また、含有量、物理/化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。

本 SDS は、下記吉澤石灰株式会社の情報を元に作成しました。該当物質については下記にお問い合わせください。

会社名 : 吉澤石灰工業株式会社
住所 : 栃木県佐野市宮下町 7-10
電話番号 : 0283-84-1117
緊急連絡電話番号 : 同上
FAX 番号 : 0283-84-1127